

令和5年度第1回生涯学習審議会（書面開催）における審議会委員からの意見・質問に対する回答

番号	意見・質問	回答	担当課
1	<p>No.24 生涯学習ボランティア</p> <p>鳥の博物館市民スタッフについての情報提供と御提案をさせていただきます。鳥の博物館の市民スタッフ制度の導入は2005（H17）年度からで、当初は50人近い市民スタッフを擁して幅広く博物館活動に協力していましたが、現在はその半分以下で、新たな市民スタッフの増員もほぼ無しと言う状況が続いています。現在も、初期に登録したメンバーが活動を支えているのが現実です。</p> <p>近年、市民スタッフの応募者が少ないことや、初回の研修を受けて以降、ほとんど活動に参加しなくなってしまう事例も多く、館内外のイベントの担い手不足を感じています。その原因としては、参加者の希望する活動内容とのミスマッチや、初回研修が重厚で「こんなことは私には出来ない」と印象付けてしまうことが考えられます。初期の市民スタッフは、まだ研修等の制度も十分に整備されていなかった面もあり、多くの部分を、活動に取り組みながらOJTで仕事を覚える形で人材育成をしたり、スタッフ同士の横のつながりが十分にあって、スタッフ内で自主的に勉強会などもして、博物館活動に貢献してゆくようなスタイルが出来ていました。また、学芸員からのフォローアップも手厚く、「学芸員＋市</p>	<p>鳥の博物館市民スタッフの方々には、平成17年の市民スタッフ制度のスタート以来、現在に至るまで鳥の博物館の活動にご協力いただいております。</p> <p>ご意見にありますとおり、鳥の博物館市民スタッフは、新たな加入者がなかなか見つからず、活動するメンバーが固定化しているという現状があります。</p> <p>今後も鳥の博物館市民スタッフ制度を継続していくには、新たなスタッフを確保していくことは急務であり、そのためには、鳥の博物館の支援体制の見直しや、市民スタッフの育成システムの見直しも検討していく必要があると感じております。</p> <p>鳥の博物館といたしましては、今後も市民スタッフの方々がより良い活動が行えるよう、引き続き必要な支援を行ってまいります。</p>	<p>生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、<u>鳥の博物館</u>、<u>図書館</u></p>

<p>民スタッフ」のワンチームとして博物館活動に取り組み、達成感も大きかったものと思われます。現在では、観察会に良くいらしていただいている参加者で、博物館の活動に関心と理解があり、市民スタッフに向いていると思われる人に、現・市民スタッフが積極的にお声掛けをしてお誘いしているような状況です。本件に限らず、多くの場、多くの分野で市民ボランティアの「担い手不足」の話を聞きます。これは、生涯学習活動の持続性や継承の面でも、課題だと思います。より多くの方に、市民スタッフの活動について知っていただき、公募時にその活動内容が十分に理解でき、魅力を感じてもらえるよう、丁寧に説明したり、初期研修が「威圧」にならないよう、必要な事項を良く選んで簡潔に分かりやすく伝え、より、活動に取り組みやすくし、詳細はOJTで少しずつスキルアップしてゆく形でも、良いのではないかと思います。実際、現・市民スタッフの多くが、活動に取り組みながらスキルアップしていった人達です。その姿は、活動に取り組む市民スタッフ自身が、最も「生涯学習」の恩恵を受けている人達である、とも言えるものでもあります。市民スタッフを、「役所の生涯学習事業のお手伝い」ではなく、生涯学習の担い手の一角として名目も内容も明確に位置付け、人材を育ててゆくような体制が望まれます。多くの市民に、「市民スタッフに参加することのメリット」を感じていただき、参加動機を与えることが出来るよう、御検討をお願いします。</p>		
--	--	--

2	<p>No.2 4 生涯学習ボランティア</p> <p>ボランティア活用について、主に7つの機関から掲載されています。コロナ禍の影響により、実績はしかたありませんが、今後の方向性としては、無償のボランティア活動とも言えなくなるのではありませんか。たとえば、「学校支援ボランティア」では、教師の働き方改革の施策のひとつとして、部活動指導者の活用が実践され、それに対して報酬が発生しています。部活動だけでなく、本来の学習活動支援も範ちゅうになっておかしくないと考えます。今までの多くは、厚意に甘えていた風潮もあるやに思います。今後の方向性について教えてください。</p>	<p>学校の教育活動支援には、地域の方のみならず市内外の大学生や高校生がボランティアとして参加しています。これらの学生・生徒は将来、教職を志している者がほとんどであり、自らの夢を実現する過程としてボランティアを行いながら学んでいますので、双方にメリットがあるものとなっています。</p> <p>また、部活動指導員については、中学校の休日部活動地域移行の最初のステップとして、将来を見据えて有償としました。学習支援ボランティア等についても、持続可能な取り組みとするためには有償であることが望ましいと思います。ただ、ボランティアに携わっていただいている地域の方々は、自らも学ぶ場として、また、子ども達との触れ合いを楽しみにしながら生き甲斐を見つけるなど、自己実現を果たす場として意欲的に活動していただいているという現状を踏まえつつ今後の方向性を検討していきたいと考えています。</p>	<p>生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館</p>
3	<p>No.4 6 地区計画制度の活用の支援</p> <p>良好な住環境の整備は美しい街並みや魅力あるまちづくりに欠かせないものです。新規に開発される地区での指導・支援は比較的しやすいと思います。しかし、既存の市街地での地区計画制度の導入は住民の同意が必要で困難が伴います。新規開発に合わせてその近隣地域を含めてまち並みを形成することも可能かと思えます。既存市街地で、地域計画制度を活用する街づくりに向けた行政側から地域住民への働きかけたこと及び今後働きかける予定は有るのですか。魅力あ</p>	<p>市の計画等で位置付けられた政策を推進するために、行政主導で地区計画の策定を行っている事例があります。</p> <p>都市計画道路の開通により幹線道路としての役割を終えた公園坂通りについて、都市計画マスタープランに位置付けた「歩きたくなるみち」というコンセプトの実現のため、公園坂通りの周辺を対象区域として行政主導のもと、令和5年度末の地区計画策定を目指し、手続きを行っています。</p>	<p>都市計画課</p>

	るまちづくりに向けた学びも生涯学習の一つであると思い、お聞きします。		
4	<p>No. 6 8 熟年備学</p> <p>多くの市民に幅広く参加していただくために、長寿大学や熟年備学の講座を興味がある講座だけ単体で受けることはできないのでしょうか？</p>	<p>長寿大学や熟年備学などの公民館学級は、地域活動やまちづくりにつなげることを目的として年間を通したプログラムで実施していますので、単体での受講はできません。単発の講座については、生涯学習推進事業として実施しており、令和5年度は、走り方教室やラジオ体操を学ぶ講座など実施しています。</p> <p>また、市民の皆さんがメニュー表から興味のある講座を選び、市職員、市民講師、大学の教員などが皆さんのところへ出向いて講座を実施する生涯学習出前講座を実施しています。</p> <p>今後も多くの市民の方に幅広く参加していただけるよう学習内容の充実と機会の拡充を推進していきます。</p>	生涯学習課
5	<p>No. 7 3 成人青少年への図書館サービス</p> <p>館内の閲覧席の使用を受付制にし、時間制限を設けている図書館が多数あります。</p> <p>また、自動貸し出し機を備える図書館も見受けられ、よりプライバシーが尊重されるようになってきたと感じます。</p> <p>多くの市民の方々に幅広く利用していただくため、特に中高生が利用しやすい環境を調えるという観点から、これらのサービスについてどうお考えでしょうか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧席の時間制限について <p>既存の図書館では受付制にして管理するほどの閲覧席は用意できていません。少ない席を受付制にすると煩雑になり双方にメリットはないと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動貸し出し機について <p>大変便利で気軽に貸出ができる点で利用者の利便性は向上すると考えます。機械類に慣れている現代の若者に有効であることも十分認識しています。しかし、設置して使用してもらうには貸し出し機の用意だけでなくすべての本にチェックできる機能（ICチップ）を付加する必要がある、高</p>	図書館

		額な費用がかかるため既存の図書館での設置は厳しいと考えています。	
6	<p>No.7 5 子どもの読書活動推進計画の進行管理</p> <p>子どもたちの図書館利用の推進、読書活動や図書館資料利用の促進をはかる上で、「調べ学習コンクール」などを実施することは考えているでしょうか？館内に「たんた新聞」「ブックリスト」など非常に良い刊行物はあるものの、まず来館してもらうための手立てが必要であるように思います。</p> <p>※「調べ学習コンクール」（身近な疑問を公共図書館や学校の図書館を利用し、調べてまとめたものを応募するもので、千葉県では6市が実施。全国コンクールもある。）</p>	<p>図書館単独での開催は考えていません。教育委員会で毎年行っている小中学校科学作品展や学校での各教科や総合的な学習の時間等での取り組みの中で、情報収集や作製の過程において十分に図書館を利用し役立てるようバックアップすることが現在の市民図書館の役割と考え、学校と連携・協力しています。また、生涯学習センターであるアビスタ（図書館がある建物）の展示スペースで小中学生の総合的な学習の時間等の成果物を積極的に展示できるよう連携を始めています。そうすることで、アビスタに保護者とともに訪れる機会を増すねらいがあります。</p>	図書館
7	<p>No.8 2 家族介護教室</p> <p>高齢者なんでも相談室（包括支援センター）には、民生委員としてお世話になっています。定期的に行われる教室は、地域の高齢者に喜ばれています。これからも高齢者に必要な情報を伝えていただきたいと思います。</p>	<p>高齢者の介護の課題は、介護を担う家族の課題でもあります。家族介護者の負担や不安を軽減するため、引き続き、家族介護教室を実施してまいります。</p>	高齢者支援課
8	<p>【資料2】No.8 4 介護予防講演会</p> <p>高齢者の方々やその家族にとって、介護予防の身体作りや知識の取得は生活の質を左右する問題であると思いますが、情報にアクセスすることが容易でない場合も多いため、地域の医療機関などとも連携し情報や講座を提供したり、サロンとつなげていくことはできないでしょうか？</p>	<p>令和4年度にあびこ版フレイル予防DVD「15分でできる！あびこ元気アップ体操」を作成し、地域のサロンや希望団体に配付しています。「きらめきデイサービス事業」の強化型サロン団体には、年1回理学療法士が訪問し、体操指導をしています。また、地域の団体の要望に応じて出前講座も実施しており、健康教育やフレイルチェック等の知識の普及啓発や介護予防活動に取り組んでいます。</p>	高齢者支援課

9	<p>No.8 5 高齢者虐待防止講習会</p> <p>8050問題は民生委員の間で話題になっております。「評価Aとして、相談支援に関する実践力の強化につながった」と書かれています。今年度の開催には、民児協の方を募って参加したいと思います。</p>	<p>8050世帯は、ひとつの世帯に複数の課題が複合する支援困難事例に発展する傾向にあり、対応に苦慮しているところです。今年度は、専門職を対象に「セルフネグレクト」をテーマとした講習会を8月に実施済みですが、今後も高齢者虐待に対応する講習会を継続して開催していく予定ですので、民生委員・児童委員のみなさまにも情報をお伝えします。</p>	高齢者支援課
10	<p>No.8 6 遊具うんどう教室</p> <p>うんどう遊具が設置されている公園が市内に3カ所あることを知りました。利用者が多いと思われる手賀沼公園にも、ぜひ設置をお願いします。高齢者の居場所づくりの一つになると思います。</p>	<p>遊具設置から20年以上経過し、遊具の老朽化が進んでいます。現在、遊具の修繕費用の捻出や、指導ボランティアの成り手不足等の課題に対応しており、現時点では新たな公園での遊具うんどう教室の実施は考えておりません。健康遊具の設置については、公園緑地課と協議していきます。</p>	高齢者支援課
11	<p>No.102 公民館施設管理運営</p> <p>今回の資料1.には掲載されていませんが、以前の会議で「新たな生涯学習センター（ホール）」の建設について、その規模・収容人数等協議されました。関係機関、委員からも意見・希望が出ましたが、その後の進捗状況について教えてください。現在、湖北地区公民館が施設改修工事のため3ヶ月間休館です。文化活動の時期に、不便であるとの声も聞こえてきます。</p>	<p>「文化施設（ホール）」に「交流促進機能」を付加することによりにぎわいを創出する「文化交流拠点施設」の建設については、eモニターアンケートにより幅広い若い世代や施設利用の有無にかかわらず、多くの市民からの意見を聴いてまいりました。</p> <p>また、令和5年2月には、文化交流拠点施設が建設された際に、利用することが想定される湖北地区公民館（コホミン）ホール利用団体の皆様にアンケートを実施し、eモニターと合わせ、アンケート内容の分析・検証を行うとともに、令和5年7月には、市長と文化団体との意見交換会を実施いたしました。</p> <p>文化交流拠点施設の建設には多大な費用を要することから、今後も、本市にとって最適な文化交流拠点施設の方向性</p>	生涯学習課

		について、財政的な観点も踏まえながら慎重に検討を進めていきます。	
1 2	No.1 0 7 体育施設管理運営事業 我孫子市には、各小中学校に屋内体育館、湖北地区には市民体育館があります。ところが、市民陸上競技場がないように思います。ゆうゆう公園にあるのがそうですか。中央学院大学に隣接しているのがそうですか。小中学生の陸上競技大会が、印西市・柏市の競技場をお借りして実施しているのが本市の現状です。今後の計画があるのか展望について教えてください。	頂いたご意見のとおり、現在、我孫子市には陸上競技場がない状況です。今後、五本松運動広場におけるサッカー場兼ラグビー場の整備と合わせて、陸上トラックの整備を検討していきます。	文化・スポーツ課
1 3	No.1 1 4 旧井上家住宅の保存と活用 9月1日付け広報は「ロケのまち我孫子」の紹介でした。今までになく大きな反響で、みなさん嬉しそうに話題にしています。たくさんの誘致に至るまで大変だったと思います。	ご意見ありがとうございます。 我孫子市の文化財は『我孫子市文化財保存活用地域計画』に基づいて保存と活用を進めており、今回のロケ地誘致もその一環です。また、撮影時はNPO法人手賀沼フィルムコミッションと協働することで、行政では担えない地域との懸け橋をしていただきました。今後も我孫子市民の自慢となるような施設の運営を心掛けていきます。	文化・スポーツ課
1 4	No.1 8 7 学校運営協議会制度の活用 令和4年度からの発足で1年になります。「A評価で成果・効果があった」ということで良かったです。具体的に成果があったことを教えていただけませんか。	令和4年度に市内全小中学校がコミュニティ・スクールとなり、「地域とともにある学校」の一步を踏み出しました。具体的には、学校運営の基本方針や小中一貫教育基本方針が運営協議会委員との熟議を通して承認され、学校の教育目標や理想の児童生徒像が学校と地域で共有されることで、両者が同じ方向を向いて協働して子ども達の教育活動に当たれるようになったことや運営協議会で学校の課題等についての	指導課

		熟議が為され、地域学校協働活動との一体的活動を通して地域の方の支援を受けながら解決を図れるようになったことなどが挙げられます。	
15	<p>【資料2】No.135 介護予防サポーター養成講座</p> <p>高齢者の方々やその家族にとって、介護予防の身体作りや知識の取得は生活の質を左右する問題であると思いますが、情報にアクセスすることが容易でない場合も多いため、地域の医療機関などとも連携し情報や講座を提供したり、サロンとつなげていくことはできないでしょうか？</p>	<p>令和4年度にあびこ版フレイル予防DVD「15分でできる！あびこ元気アップ体操」を作成し、地域のサロンや希望団体に配付しています。「きらめきデイサービス事業」の強化型サロン団体には、年1回理学療法士が訪問し、体操指導をしています。また、地域の団体の要望に応じて出前講座も実施しており、健康教育やフレイルチェック等の知識の普及啓発や介護予防活動に取り組んでいます。</p>	高齢者支援課